

9月3日 朝の勉強会

テーマ 「救急外来における産婦人科疾患」

担当 研修医I先生

普段救急外来で産婦人科疾患は専門家の当直が診ているが、自分が診療した際にはコンサルが必要
→何を疑っているのか明確にする

40歳以下の女性の急性腹症の40%程度が産婦人科疾患といわれる



主訴： 腹痛 性器出血
(10-40代女性をみたらまず妊娠考慮)

【緊急性の高い疾患】

異所性妊娠 卵巣腫瘍茎捻転

【比較的緊急度の高い疾患】

卵巣出血 切迫流産

【緊急度の低い疾患】

月経痛 PID (骨盤内炎症性疾患)

Take home message
妊娠可能な女性を診察する場合には妊娠の可能性を念頭におく。

問診の際には最終月経、妊娠、性器出血を聞くことを忘れない。